

「手々小中学校の『われんきゃガイド』の取組」

1. 学校名	徳之島町立手々小中学校
2. 学年・人数	小学2年生1人, 小学4年生1人, 小学5年生1人, 中学1年生2人 計5人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和7年2月13日 手々小中学校 (2) 発表の日時・場所 令和7年2月17日 手々校区
4. 活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事, 伝統工芸品について	(1) 名称・時代 ・ 掟大八の力石（おきてだいはちのちからいし） 時代：1500年代半ば（琉球王国の徳之島支配時代） ・ 按司墓（あじばか） 時代：同上 (2) 特徴等 掟大八は石工技術と武勇に優れ、琉球王に招かれて築城に携わり、加計呂麻の諸鈍城攻略では手柄も立てたが無念の戦死を遂げた。力石は大八が力試しに用いたと伝えられ、480kg あると言われる。按司墓は大八と家来の墓であり、総称して名付けられているものである。
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	総合的な学習の時間において、児童生徒の郷土理解を深めるために学習内容を発信する伝統的な取組である。 来島者やキャンプで来校した実業団等に向けて、子どもたち自身がガイドとして、校区内の史跡・名所等の案内を行っている。 地域有識者や、企業等も含めた関係団体の助言を受けながら継承と内容の深化に努めている。 本年度は PEPPER を案内役に取り入れる等、プログラミング学習の成果も取り入れている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 令和5年度の「われんきゃガイド」の様子
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【生徒】 ・ 準備を含め大変な部分もあったが、来ていただいた方々に手々校区のことをたくさん知ってもらえたので嬉しかった。